

かぐめよし少年自然の家だより 令和2年1月発行

謹んで新年のお祝いを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

かぐめよし少年自然の家は、外壁改修工事の真っ最中で、ご迷惑をおかけしておりますが、 3月には頂吉の緑の中に、「凛」とした姿をお見せできることと思います。

さて、本所には、「かぐめよし自然少年団」という組織があり、年間 6 回程度の自然体験活動を行っています。団員は小学校 4 年生から中学校 3 年生まで最長 6 年間在籍できます。

高校生になるとボランティアサークル「やまめ」に所属して、後輩の支援、応援に汗を 流してくれる団員もいます。

少年団は、1泊2日の日程で活動していますが、「自分の力でかぐめよしに来よう!」という目標も掲げており、多くの団員が自宅の最寄りJR駅から、自然の家最寄りの「呼野駅」までやって来ます。特に4年生等はドキドキの公共交通機関ですが、車社会の中において、「電車の時間を調べる」「切符を買う」「困ったときはどうする?」等々、プチ困難を乗り切る体験となっています。

呼野駅に到着すると、所員が集合を確認し、約 45 分を歩いて自然の家に到着します。帰りも、同じ道を歩きます。団員が頑張っていることと合わせて、保護者の皆様も心配、ドキドキで見守っていただいていることと思います。電波一本で団員と通じていることもあるかと思いますが、「心配、ドキドキ」で団員が帰ってきたときの安ど感、満足感はいかばかりでしょう。これからも、電波に頼り過ぎず、親二『木の上に立って見る』という漢字を思いつつ、自然の家でも、たくましい子どもたちの育成に汗をかきたいと思います。

みな様のご指導、ご支援をお願いいたします。





主權等惡為



はじめての陶芸教室



今年も山本先生の 指導の下、7家族が陶 芸を楽しみました。





1回目では今年の干支「子」の土鈴と湯呑を一人1個ずつ、大皿を1家族に1つ作り、 草木の名前の由来を勉強しました。

2回目は素焼きの終わった作品に、釉薬で思い思いの色を付けて、2回の陶芸教室が無







時終了しました。

後日、焼き上がった作品を皆さん笑顔で持ち帰っていました。お気に入りの作品はできたかな?

秋の福智山登山 ~いんとうを見よう~



10月20日、気持ちよく晴れた福智山に4家族、 12名で登りました。

サブタイトルにもあるリンドウは数はあまりありませんでしたが、ハバヤマボクチやセンブリなど沢山の花々を見つけることができ、隊長の説明を皆さん熱心に聞いていました。

暖かく、絶好の登山日和。山頂で景色を楽しみな





がらのお弁当、美味しかったですね!!

第4回かぐめよし自然少年団



今回の活動では、テントの近くで焚火を囲みながら団員たちでいろんなことを語りあったり、わんぱく広場の階段をみんなで作ったりしました!

特に階段作りでは、25kg もあるマサファルトを協力して運んだりしてとても大変だったと思うけど、素晴らしい階段ができ上りました。これからの活動で使っていきましょう!











市民センター職員等研修会



紅葉の色づくかぐめよしに2つの市民センターから3名の職員の方が参加してくれました。午前中に散策をしながら草木の名前や特徴を学び、午後からは木のキーホルダー作りをして、木の温もりに触れていただきました。昼食で食べたむかごご飯、美味しかったですね^^







クリスマスリース作り



素敵なクリスマスをむかえる為に、自然の素材を使ってクリスマスリース作りを3家族9名で行いました。各家族ごとにオリジナルのリースが作れてとても良かったですね!

葛のつるを編んだり、松ぼっくり、サルトリイバラの実など作







₹ るのにみんな集中していました!

ぺったんぺったんお餅つき









ん餅つきの音が響きました。今年は8家族21名が、1日目に注連飾り作り、2日目に餅つきを楽しみました。



初日、皆さん一生懸命藁と格闘しながら立派な注連飾りを作りました。そして 2 日目、朝からみんなで餅つきの準備をし、計 6 日つき上げました。イチゴ大福、餡子、黄粉、酢餅、みんな美味しそうに食べていました。搗き立てのお餅、美味しかったですね!!

第3回ボランティア研修会







冷たい雨が降るあいにくの天気で したが、各施設のボランティア、施設 職員の皆様にご参加いただきました。 おかげさまで美味しいお餅を搗くこ

とが出来ました。豚汁も美味しかったですね♪

ー緒に身体を動かすと自然と会話が弾み、施設の垣根を超え交流する姿が見られま した。

*10月12~13日開催予定でした「家族でキャンピング&アウトドアご飯」は台風19号の接近のため中止となりました。

頂吉図鑑~第19回~

令法 (リョウブ)



今回は、令和の元号に因んで令法(リョウブ)という木を紹介します。

令という漢字がついている木は珍しいと思います。この木は飢饉に備えるための救荒植物として、採取や保存を 法によって命じられことから、令法という名がついたといわれています。

若葉を茹でて水にさらし灰汁を抜き、ご飯に混ぜて令法飯、また天ぷらとして食べるとよい。などと山菜の本には書かれています。私も何度か試してみましたが、特徴のある味はなく、美味しいとまでは思いませんでした。料理の仕方にもよるかもしれませんので悪しからず。

見た目には特徴があります。樹皮が剥がれて平滑で、名を知らない人に聞くと、ほとんどの人は百日紅(サルスベリ)と答えます。床柱として使うこともあるそうです。断面も緻密で美しく、自然の家では木メダルとして重宝しています。

花は白く遠くからも、よく目立ちます。別名 旗積もり(ハタツモリ)。幾千の白い旗が積もるように群れ咲く 姿から名付けられたそうです。ちょうど山に花が少なくなる7月頃、かぐめよし周辺に、こんなにも沢山リョウブ の木があったのかと驚かされます。花はとってもいい香りがしますので、誘われて来てみませんか。

寒に入り寒さも厳しくなってきました。

「里人や 若葉つむらん はたつもり 外山も今は 春めきにけり」

春に想いをよせて!

主催事業のお知らせ

	事業名	時期	対象者・人数
2月	みんなでだんらんラン	2月15(土)~16(日)	7家族
3月	第6回かぐめよし自然少年団	3月14(土)~15(日)	かぐめよし自然少年団に所 属する団員

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。 応募は市政だよりをご覧になってお願い致します



北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所:〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話: (093) 4 5 1-3 1 1 f a x: (093) 4 5 1-3 1 3 3